

特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会

2018年度 事業概要



枚方人権まちづくり協会

特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会

特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会は、枚方市と人権施策を推進する協働のパートナーとして、市民の人権意識の普及と高揚を図り、すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現をめざし、市民のだれもが自らの選択により自立し、安心して暮らすことのできる人権のまちづくりに資するための事業などに取り組むことを目的としています。

事業の種類（特定非営利活動に係る事業）

1. 人権擁護及び自立支援についての相談に関する事業
2. 人権意識の普及・高揚を図るための啓発に関する事業
3. 人権意識の普及・高揚を図るための人材育成に関する事業
4. 関係諸団体との調整、協力及び連携に関する事業
5. その他目的を達成するために必要な事業

目 次

1. 枚方人権まちづくり協会運営	2 ページ
2. 協会自主事業（人権啓発事業等）	3 ページ
3. 枚方市からの受託事業	4 ページ
(1) 男女共生フロア相談事業	4 ページ
(2) 地域就労支援事業	4 ページ
(3) コミュニティソーシャルワーカー配置事業	5 ページ
(4) 進路選択支援事業	6 ページ
(5) 人権ケースワーク（人権なんでも相談）事業	6 ページ
(6) 人権啓発事業	6 ページ
4. 決算概要（活動計算書）	9 ページ

1. 枚方人権まちづくり協会運営

(1) 総会、理事会の開催

- 5月30日 総会を開催
- 5月30日に2回、10月29日、3月29日 理事会を開催

(2) 企画運営委員会 (12回開催)

協会の運営や事業等について協議した。相次ぐ災害の発生等を受け「災害発生時の協会の対応」や、人権意識の普及・高揚を図るため「事業所等への人権研修に係る講師派遣の制度構築と試行実施」などに取り組んだ。

構成：理事長、副理事長（2名）、調査研究部会長、市民活動部会長、市人権政策室長、事務局

(3) 市民活動部会 (9回開催)

現地会員研修会や啓発事業等の自主事業について協議した。また、自主事業等の開催時に、部会員が受付や会場整理、協会活動のパネル展示、入会勧誘を行った。

構成：部会長、部会員6名、事務局

(4) 調査研究部会 (8回開催)

「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果」における評価員の指摘や市の「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果に係る対応方針」を受け、本協会の将来の経営の在り方などについて検討を進めた。

構成：部会長、部会員3名、事務局

(5) 協会ホームページによる発信

2017年度に作成した本協会ホームページを活用し、協会事業の周知に努めた。本年度は45回更新し、ホームページの閲覧件数が12月～2月は5000件を超えるなど、順調に推移している。

(6) 会員の加入促進

会費収入増による自主財源の確保を図るため、人権啓発事業の会場での入会案内のコーナーの設置やリーフレットへの入会案内の挟み込み、役員等による知人の勧誘など積極的に加入の呼びかけを行っている。

協会会員数 ○ 個人会員 304名 ○ 団体会員 33団体 (2019年3月31日現在)
--

2. 協会自主事業（人権啓発事業等）

協会内において市民活動部会を設置し、会員自らが企画・運営を行い、市民への人権啓発を目的に、さまざまな事業を実施している。

(1) 会員向けの研修会の実施

協会の自主事業として、会員向けの研修会等を実施している。

開催日	事業内容	参加者数
5月30日（水）	○ 総会時の会員研修 ドキュメンタリー映画『長良川ド根性』 （会場）メセナひらかた会館 大会議室	33人
10月5日（金）	○ 現地会員研修会 舞鶴引揚記念館 赤れんが博物館 道中のバスで人権啓発ビデオ『風の匂い』を鑑賞	44人

(2) 市民向けの人権啓発事業の実施

協会の自主事業として、講演会や映画会など市民向けの人権啓発事業を実施している。

開催日	事業内容	参加者数
7月25日（水）	人権啓発事業（上半期） 講演及び対談 「性別って2つだけ？～多様な性のあり方～」 講師 一般社団法人 ELLY （会場）ラポールひらかた 大研修室	87人
11月9日～ 14日	人権啓発事業（下半期①） 枚方市ハンセン病問題解決に係る啓発事業（枚方市と共催） 多摩全生園のパネル展と、国立ハンセン病資料館学芸員の講演 （会場）ふれあいホール	パネル展 142人 講演 40人
2月16日（土）	人権啓発事業（下半期②） 本郷由美子さん（池田小学校事件遺族、精神対話士） 「いのちの重さを見つめ続けた17年 ～ 池田小学校事件から、娘が教えてくれたこと」 （会場）メセナひらかた会館 大会議室	115人
3月25日（月）	親と子の人権映画会 『ベイマックス』（2回上映） （会場）メセナひらかた会館 多目的ホール	210人

(3) 協会ニュース「人権まちづくり新聞」の発刊

枚方人権まちづくり協会の諸活動を広く周知するとともに、啓発の一助になることを目的に、市民活動部会の編集委員による原稿作成・紙面編集で、年3回、各3000部を発刊している。

協会会員及び生涯学習市民センターや図書館などの各公共施設、公立小・中学校に配布。

3. 枚方市からの受託事業

(1) 男女共生フロア相談事業

枚方市駅前のサンプラザ3号館4階「男女共生フロア」において、専門の相談員を配置し、「面接相談」「電話相談」「法律相談」（DVに関する相談も含む）を行っている。

<内 容>

面接相談（要予約） 相 談 員：相談日に1名配置（相談員2名）
相談日時：水曜日 13時～16時10分
木曜日 15時～19時40分
金曜日 10時～15時
業務内容：女性の様々な悩みを女性カウンセラーがサポート。

電話相談 相 談 員：相談日に1名配置（相談員3名）
相談日時：火曜日 15時～20時
水曜日 13時～17時
木曜日 10時～15時
業務内容：相談に行きにくい人のための電話相談。利用者は女性のみで、予約は不要。

法律相談（要予約） 相 談 員：相談日に1名配置（相談員4名）
相談日時：第1土曜日、第2金曜日 13時20分～15時50分
第3木曜日 17時20分～19時50分
第4火曜日 10時20分～12時50分
業務内容：法律上の問題に女性弁護士が応じる。予約が必要。
1人30分1回限りの相談で、女性相談のみ。

<2018年度の業務実績>

- 面接相談：総数435件（うち、DV相談41件）（新規64件、継続370件、不明1件）
- 電話相談：総数580件（うち、DV相談2件）（新規120件、継続460件）
- 法律相談：総数121件（うち、DV相談4件）（新規120件、継続1件）

(2) 地域就労支援事業

地域就労支援センターを設置し、障がい者、ひとり親家庭の親、若年者、中高年齢者等で、働く意欲がありながら様々な就労阻害要因のために就労ができない就職困難者につい

て、地域就労支援コーディネーターが、雇用・就労支援施策などを活用し、地域の関連機関（ハローワーク・若者サポートステーション・子ども総合相談センター等）と連携しながら、雇用・就労の支援を行っている。

<内 容>

相談員（地域就労支援コーディネーター）：1名

相談日時：月～水曜日・金曜日 9時～17時30分（要予約）

業務内容：相談者の就労支援、就職のためのスキルアップ講習など

<2018年度の業務実績>

○ 相談件数：総数 335 件（就職件数 34 件）（新規 100 件、継続 235 件）

○ 講座等の開催

- ・ 就労支援パソコン講習会（全 13 日）：事前研修（6 月 6 日） 参加者 18 名
日商 PC 検定基礎ワード対策講座（6 月 7 日～6 月 15 日） 参加者 17 名
日商 PC 検定基礎エクセル対策講座（6 月 21 日～6 月 28 日） 参加者 16 名
- ・ 介護職員初任者研修：介護職の技術の習得と資格取得（9 月 7 日～10 月 24 日）
全 16 日 参加者 16 名
- ・ 介護事務講座：介護事務技能認定試験「ケアクラーク」資格取得講座
（11 月 26 日～12 月 7 日）全 4 日 参加者 10 名
- ・ 調剤薬局事務講座：「調剤薬局事務管理士」資格取得講座
（2 月 22 日～3 月 7 日） 全 8 日 参加者 29 名

(3) コミュニティソーシャルワーカー配置事業

地域における高齢者、障がい者、ひとり親家庭など、援護を要するあらゆる人、又はその家族・親族等の支援を通じて、地域の要援護者等の福祉の向上と自立生活の支援のための基盤づくりを行い、地域福祉の計画的な推進に資することにより、健康福祉セーフティネット（いきいきネット）の構築を図っている。

枚方市では、5か所の「いきいきネット相談支援センター」にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、福祉に関するあらゆる相談（福祉なんでも相談）を実施しており、当協会は、そのうちの1か所で市全域を担当している。

<内 容>

相談員（コミュニティソーシャルワーカー）：1名

相談日時：月～金曜日 9時～17時30分

業務内容：地域福祉の計画的推進への支援業務、セーフティネット体制づくり業務、要
 援護者等に対する見守り・相談業務、地域福祉の向上のため市町村に対して
 の情報提供など

<2018 年度の業務実績>

○ 相談件数：総数 809 件（新規 105 件、継続 704 件）

相談形式：面談 132 件、電話 343 件、訪問 334 件

○ 講演会等の開催

開催日	事業内容	会場	参加者数
10月9日(火)	拡大事例検討会相談窓口・多職種連携会議 ～ワンストップ相談を目指して～	ラポールひらかた 大研修室	38人
1月9日(金)	枚方市地域福祉セミナー 「地域福祉の視点から災害をふりかえる」 ～わたしたちが普段から備えているこ と・被災直後にしたこと～	メセナひらかた会館 大会議室	74人

(4) 進路選択支援事業

進学意欲を有しながら、経済的な理由により高校・大学等への進学が困難で、支援が必要
 な生徒に対して、家庭の状況に見合った適切な相談や個々の課題等に対応したサポート
 を行い、生徒が積極的に自己の進路を考え、将来に展望が持てるよう、必要に応じて学校
 や関係機関と連携し支援を行っている。

<内 容>

相談員：1名

相談日時：火曜日 13時～17時及び18時～20時（要予約）

業務内容：奨学金・進路等の相談、情報提供、学校訪問、関係機関へのコーディネート
 などの相談者に対する支援

<2018 年度の業務実績>

○ 相談件数：総数 31 件（新規 30 件、継続 1 件）

相談形式：面談 30 件、電話 1 件

(5) 人権ケースワーク（人権なんでも相談）事業

専門の相談員を配置し、市民が人権侵害を受け、又はその恐れがある場合において、相
 談事案に応じた助言及び情報提供を行うとともに、市民が自ら問題解決できるよう支援を
 行っている。また、男性の生き方に関する相談も行っている。

<内 容>

相 談 員：相談日に1名配置（相談員3名）

相談日時：月～金曜日 9時～17時30分（木曜日は、男性の生き方相談含む）

業務内容：人権に関するなんでも相談

<2018年度の業務実績>

○ 相談件数：総数299件（新規89件、再開6件、継続204件）

相談形式：面談41件、電話255件、文書3件

(6) 人権啓発事業

人権文化セミナー、人権週間事業、連続講座「生きること」及び「生きること」冊子作成事業、北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業を実施している。

① 連続講座「生きること」

連続講座「生きること」は、毎年、複数の講師を招き、それぞれの講師のさまざまな立場での考えや思いを一人称で語っていただき、その生きざまや体験を通して、参加者とともに「生きること」について考えるために、4回シリーズで講座を実施している（枚方市、枚方市教育委員会と共催）。

開催日	テーマ及び講師	参加数
第1回 9月6日（木）	「人工呼吸器があってもみんなと一緒に！～支援者と地域で暮らす」（人権政策室） バクバクの会 関西支部幹事 新居真理さん	34人
第2回 9月13日（木）	「ひきこもりだった。でも、だからこそ感じられた事やできた事があった。」（社会教育課） NPO みんなの未来がいたく団 代表理事 児島一平さん	48人
第3回 9月19日（水）	「閉じ込められた命～私の母はハンセン病でした」（枚方人権まちづくり協会） ハンセン病家族訴訟原告団 副団長 黄光男さん	37人
第4回 9月26日（水）	「食べることは、生きること～拒食症だった私が、旅するおむすび屋を始めた理由」（生涯学習課） 株CAMPFIRE FOOD・LOCAL 担当 菅本香菜さん	28人

② 人権文化セミナー

人権文化セミナーは、あらゆる人権問題について学び、市民自らの人権意識を高めることを目的に、高齢者、女性、子ども、障がい者など、さまざまな人権問題について、講演会の開催等の事業を実施している。

本年度は、地域で暮らす盲ろうの人たちの日常を追ったドキュメンタリー映画「もうろうをいきる」を上映した（枚方市と共催）。

開催日	事業内容	会場	参加者数
10月24日（水）	ドキュメンタリー映画 『もうろうをいきる』 西原監督からの話	メセナひらかた会館 多目的ホール	140人

③ 人権週間事業

人権週間事業は、毎年12月4日から10日の人権週間にあわせて、市民に対して人権意識の普及と高揚を図り、人権尊重のまちづくりの一助とするため、街頭啓発、講演会等を実施している。

本年度は、街頭啓発、沢田知可子さんのトーク&コンサートを実施した（枚方市、枚方市教育委員会、枚方地区人権擁護委員会、枚方事業所人権推進連絡会と共催）。

開催日	事業内容	会場等	参加者数
12月3日（月）	街頭啓発（啓発物品の配布等）	京阪枚方市駅・樟葉駅、JR長尾駅	58人 （従事者数）
12月6日（木）	沢田知可子さん トーク&コンサート 「うたに力を、こころに夢を」	メセナひらかた会館 多目的ホール	291人

④ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業

北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業は、2006年に「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行され、12月10日から16日の1週間を「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」と位置づけられていることから、拉致問題をはじめとする北朝鮮による人権侵害問題について、市民の関心と認識を深めるために実施している。

本年度は、沢田知可子さんのトーク&コンサートの開催に合わせ、パネル展を実施した。

開催日	事業内容	会場
12月6日（水）	北朝鮮人権侵害問題啓発事業 パネル展（内閣官房拉致問題対策本部所有）	メセナひらかた会館 多目的ホール前ロビー

⑤ 「生きること」冊子作成事業

連続講座「生きること」の内容を冊子に編集し、1,000部作成。市内の公共施設などに配布し、啓発冊子として活用している。

あわせて、冊子のPDFデータをホームページに掲載することで、パソコンやスマホで冊子を読めるようにした。

4. 決算概要（活動計算書）

（1）2018年度 活動計算書の経常収益の内訳

（単位：円）

科 目	説 明	決算額
1 受取会費		
会員受取会費		517,000
	協会年会費 個人：264 団体：33	381,000
	現地会員研修会参加費 44名	136,000
2 事業収益		
受託収益		46,755,000
	男女共生フロア相談事業	9,274,000
	人権ケースワーク事業	6,630,000
	人権啓発事業	9,518,000
	地域就労支援事業	9,104,000
	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	9,618,000
	進路選択支援事業	2,611,000
3 その他収益		72,835
雑収益	人権研修講師料等	72,835
合 計		47,344,835

（2）2018年度 活動計算書の経常費用の内訳

（単位：円）

事 業 名	説 明	決算額
男女共生フロア相談事業	法律・電話・生き方相談員人件費等	8,990,937
人権ケースワーク事業	相談員人件費・事務通信費・活動費等	6,570,639
人権啓発事業	人権文化セミナー・人権週間事業費等	9,400,405
地域就労支援事業	コーディネーター人件費・PCセミナー等開催経費等	8,708,477
コミュニティソーシャルワーカー配置事業	相談員人件費・事務通信費・活動費等	9,471,429
進路選択支援事業	相談員人件費・事務通信費・活動費等	2,534,386
協会自主事業	映画会・現地研修会・講演会事業費等	1,590,360
合 計		47,266,633

（3）2018年度活動計算書の経常外費用の内訳

（単位：円）

科 目	説 明	決算額
周年記念事業準備金	2018年度 周年記念事業引当金の計上	500,000



当協会のホームページはこちら

特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会

住 所：大阪府枚方市岡東町12-1-502
(サンプラザ1号館5階)

電 話：072-844-8788

ファクス：072-844-8799

Email hirakatajinkenkyokai@wing.ocn.ne.jp

URL <http://www.hirakata-jinken.com>